



## 【戦評シート】

平成 27 年 7 月 20 日 (月)	協会名 : 秋田県 バスケットボール協会
場 所 : 大館樹海体育館	記入者 : 福山 健太
チーム A 大曲 48	チーム B 能代南
$\left. \begin{array}{r} 7 - 5 \\ 16 - 9 \\ 12 - 14 \\ 9 - 16 \\ 4 - 7 \end{array} \right\} 51$	

スターター	チーム A : # 4, # 5, # 6, # 7, # 9
	チーム B : # 4, # 5, # 6, # 7, # 8
ディフェンス	チーム A : <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
(試合開始時)	チーム B : <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1ピリオド。両チームとも立ち上がりが堅く、開始から2分30秒間無得点の状況が続く。先制は能代南。# 8 渡辺がフリースローを決める。さらに# 4 牧野がドライブからのジャンプシュートを決め、能代南が試合を優位に展開しようとする。対する大曲は、# 4 青山と# 6 遠田がインサイドを中心に攻めるもシュートを決めることができない。残り3:00となったところで、# 9 佐々木がジャンプシュートを決め、大曲が初得点。その後大曲は、# 6 遠田のリバウンドシュート、# 4 青山のジャンプシュートが連続で決まり、逆転に成功。大曲7-5能代南で第1ピリオド終了。

第2ピリオド。開始早々に能代南は# 5 工藤と# 4 牧野が連続してジャンプシュートを決める。しかし、大曲は# 4 青山のリバウンドシュートや# 5 山田の3Pシュートなどで得点を重ねていく。残り4:45、大曲14-9能代南となったところで、能代南が前半1回目のタイムアウト。しかし、その後も流れは変わらず、大曲が# 4 青山のリバウンドシュートや# 7 中村の3Pなどでリードを広げる。能代南も、ピリオド終了間際に# 4 牧野がバスケットカウントとフリースローを決め、踏ん張りを見せる。大曲23-14能代南で第2ピリオド終了。

第3ピリオド。最初に流れをつかんだのは能代南。# 6 大高のドライブや# 5 工藤のミドルシュートが続けて決まり、点差を縮める。しかし、大曲はディフェンスリバウンドからの速攻や、オフenseリバウンドからのシュートを決め、リバウンドでの強さを見せる。残り1:02、能代南# 6 大高がバスケットカウントを決めたところで、大曲が後半1回目のタイムアウトを請求。その後は能代南が# 4 牧野がリバウンドシュート、# 5 工藤がジャンプシュートを決め、点差を縮める。大曲35-28能代南で第3ピリオド終了。

第4ピリオド。能代南は# 4 牧野がリバウンドシュート、# 5 工藤がリバウンドからの速攻を決め、一気に点差を縮める。大曲37-34能代南となったところで、大曲が後半2回目のタイムアウトを請求。能代南はさらに# 5 工藤がジャンプシュートを決め、1点差に詰め寄る。大曲も# 4 青山がゴール下シュートを決めるが、能代南は# 4 牧野の活躍で、大曲39-39能代南とついに同点。さらに# 4 牧野が積極的に1対1を仕掛け、逆転に成功。その後も能代南のオフenseが成功し、残り51秒、能代南44-41大曲となったところで、大曲が後半3回目のタイムアウトを請求。タイムアウト明けには、大曲# 4 青山がポストプレイとフリースローを決める。大曲44-44能代南と同点になったところで、第4ピリオド終了。

オーバータイム。能代南は# 4 牧野がジャンプシュートを続けて決める。大曲は# 9 佐々木がミドルシュートや速攻で対抗し、一進一退の展開となる。残り27秒。能代南# 4 牧野の得点で大曲48-49能代南とする。大曲がタイムアウトを請求するが、タイムアウト明けは両チームともミスが続き、得点には至らないが、終了間際に能代南# 4 牧野が体勢を崩しながらシュートを決め、大曲48-51能代南で試合終了。能代南が初優勝を成し遂げた。